

【スタッフのひ・と・り・ご・と】

こんにちは河野です。
先月の話になりますが、我が家ではいつもハロウィンパーティーを楽しんでいます。
何年前から急に日本に浸透してきたハロウィンですが、子供がまだ小さいということもあり、親のほうを楽しませてもらっています。
特に何をやるわけではないのですが、ハロウィンっぽい料理を作ってママ友と持ち寄ったり、子供たちはそれぞれ仮装をして楽しんでいます。(親のほうも仮装したりして・・・)
いつまで親と一緒にハロウィンを楽しんでくれるかな～と思いつつも、いまから来年はどうしようか考えている私です(^ ^)



パン屋の豊田です。
「かごめ食堂」(邦画)のシナモンロールが食べたいと思い、家でパンを焼きました。機械が無いので、小麦粉やら水を練ったものを30分近く台に打ちつける繰り返しの作業をします。これが大変で、誰かに「そこまで!」とか言われるわけでもなく、打って、打って、打って、打って…。大昔のパン屋さんはどうやって大量生産してたんやろなあとか思っていたら、ふと、筋肉ムキムキの大男が汗だくでやっているのとか想像してしまって、ちょっと食欲減退。ミキサーを考えた人は天才だなあとお思います。完成したのは何故か塩バターロールでしたが、夕食と一緒に美味しく頂きました。



【多事想ろん】

胎中

先日、あるお母さんが来られて、今もなお障害のある子どもたちの若い母親のなかで、「私が死ぬ時はこの子と一緒に・・・」と思っている人がいることを聞かせていただき、背中から冷や水を掛けられたような感覚になりました。「福祉の施策どんどん進んでいっても、私らには情報届けへん・・・」「この子らどうせ、将来はどっかの暗い作業所か施設で暮らすんや!」との言葉に、なに?なに?なんでそんなことがと、暫く言葉になりませんでした。学校でのしんどさ、子どもたちの障害への理解の進まない事への苛立ち等々を聞かせてもらいました。障害者理解の地域の壁の厚さを感じました。そして私たちの無力さも感じました。

その矢先、新聞のコラムに『どの子の誕生も祝福を』とあり、最近の優生思想への社会の考え方について書かれていました。相模原の事件もそうですが、原発地域で訴えられている「被災地で普通の子どもが産めますか?」無意識の中での障害者差別ではないでしょうか。社会の常識って何が物差しでしょう? 何でも効率化を目指す世の中になっていくことの怖さを感じます。

どんな子が生まれても地域で育てていけるなら、母親に命の選別をさせなくていい社会が当たり前ではないでしょうか。みんな違って当たり前。一つひとつ大切な命ですね。

先述の女性は、あゆみの仲間に来て、子供の将来の見方が変わりましたと言ってくれました。

あゆみニュース

第133号 2016年12月

社会福祉法人あゆみの会

オープンスペースAYUMI

奈良市秋篠町1381-1

TEL: 0742-53-0511

FAX: 0742-53-0512

☎: info@os-ayumi.org



オープンスペース 'AYUMI'



秋篠パン工房



サポートシステムあゆみ リニューアル☆

【12月の予定】

クラブ活動・・・2日・9日・16日

短期入所・・・男性 9日・22日 女性 2日・16日

※緊急対応については、担当者 丸野・中田・菊田までお問い合わせ下さい。

サタデー・・・10日（カレー作り）・24日（クリスマス会）

【もうすぐあゆみ祭！】

ひさなが ひろし
久永 洋

11月23日（水・祝日）に第9回あゆみ祭が開催されます。現在、あゆみの会職員一同胸を躍らせ、バタバタと準備中です。今回の祭は職員がホスト役ということで、メンバー、メンバーご家族、地域の方々楽しんでもらえるような企画を検討中です。職員の愛のこもった模擬店…ステージのスタッフ参戦など、より一層盛り上げていきたいと思っております。さらに、例年通り地域の方々や他の事業所さんの模擬店やボランティアの皆様も参加の予定です。

当日の展示や装飾もご注目下さい。装飾については、先日、看板作成に提灯作成、色鮮やかに賑やかにになりました。また、各班、各事業の展示もお楽しみ下さい。普段私たちがしている活動を知って頂ける良い機会だと思っております。あゆみの会の仲間がイキイキ、輝いている姿をご覧ください。皆様のご来場を心からお待ちしております。



きくた
菊田

【あゆみ祭の飾りつけをしよう】

今回のサタデーは、あゆみ祭りの準備ということで、午前中はあゆみ祭看板を作成しました。絵を描くメンバーさんもいれば、キレイに着板を塗るメンバーと思いきいに着板作成に取り組んでいました。午後からは、今年の目玉である提灯づくりを行い、2人ペアでクルクルまわしながら、絵を描いたり、色付けしたりとあゆみ祭に向けて、ワクワクドキドキの創作活動を行いました。とても良い表情で一人ひとり描き、あゆみ祭看板も提灯も素敵に出来上がりました。



【給食担当からのお知らせ】

かんりえいようし きたらま ゆみ
管理栄養士 北浦真優美

先日メンバーの皆様方に嗜好調査を実施させていただきました。

ご協力いただきましたメンバー、スタッフの方々にはたいへん感謝をしております。

現在の給食の献立につきましてはほとんどの方が量、味付け等に満足していただいているようです。

また、取り入れてほしいメニューに關しましても多々記入いただきました。

食生活の基本はバランス食です。1食の中に主食(ご飯等)、主菜(メインのおかず)、副菜(小鉢物)

があることです。あゆみの給食は常にこの事を基本において考えております。

太りにくい食べ方のコツは1日3食規則正しく食べる、よくかんでゆっくり時間をかけて味わいながら食べる、また副菜(野菜類)から食べると少量でも満腹感を得られ、食べ過ぎを防ぐと言われています。

今後は皆様方の大切なご意見、ご希望を無駄にすることなくあゆみの給食が少しでも喜んでいただき楽しみのひとつとなれますようスタッフ一同頑張らせていただきます。



【28年11月1日(火)新事業所 始動！】

たいなか
胎中

法人で、数年前から安全で、安心の居場所としての第2事業所の開所を自指して、土地の購入、整備、施設建築を計画してきました。そして、昨年の10月に公開入札で建築の入札をしたところ、あまりの値段の高さに驚き、どうしようかと悩みました。しかし、設計に關わっていただいている勝村設計士と相談を重ね、落札された世古工務店の清松現場監督さんと何回も会議を重ね、何とか折り合いを付けて手の届く範囲のものを建築していくこととなりました。

そして、昨年の12月着工する運びとなりました。その後も毎週火曜日に現場事務所での会議で、専門的な話をたくさん教えていただきながらもこちらの希望にできる限り沿うよう検討を重ねていただきました。また、熊本震災の影響で材料が遅れ、工期が大幅に延びたり、雨の中での上棟式等々、心配したこともありましたが、無事竣工し開所することができました。

ご協力いただきました皆様に感謝です。

11月1日より「ふきのとう班」の仲間たちと、放課後等デイサービスの子どもたちが、木の香りいっぱいの新しい施設で、のんびりと過ごしたり、床暖のコルクの床で気持ちよさそうに座っている姿が見られます。また、今回あゆみの親の会よりご協力いただいて導入することができた念願のスヌーズレン室では、みんな普段にはない異空間での体感を楽しんでいます。

みんなの様子を自にして、諦めないで進めていくことができるようご協力いただいた色々な方々に感謝いたします。ありがとうございました。

